



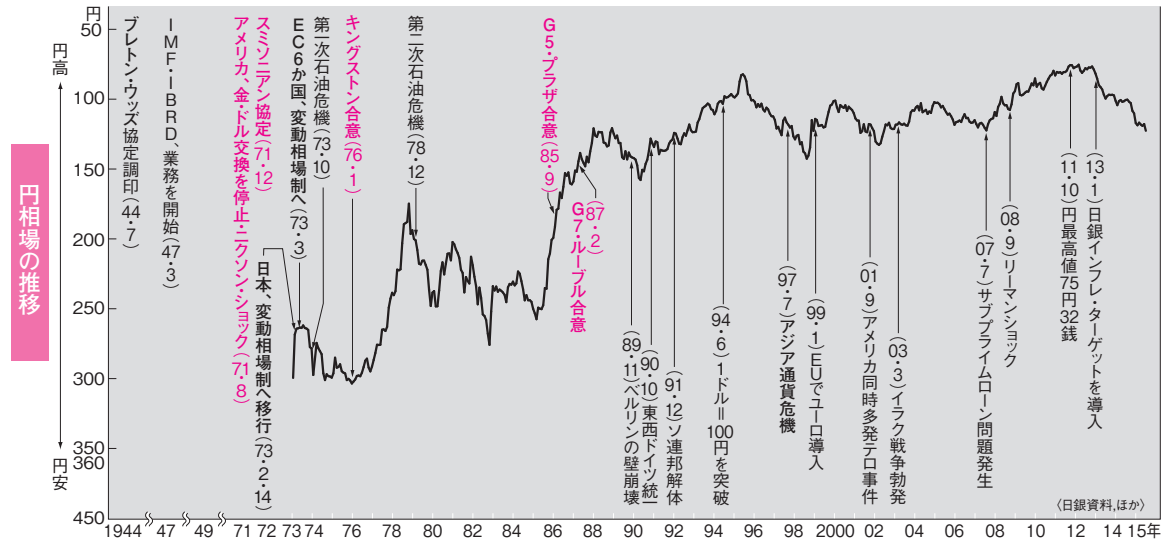
教科書と資料集の掲載資料を、
日々変化する現代の社会に合わせて最新データで再考しました。



円相場 急激な円安・ドル高が進む

『アクセス現代社会 2016』 p.246 I ■ 「国際通貨制度の歩みと円相場」に掲載予定

データ更新



国際通貨制度の歩みと円相場

2015年5月末時点のドルに対する円相場は1ドル＝123.75円で、2002年以来、12年半ぶりの円安水準となった。2012年5月末時点の円相場が1ドル＝78.81円であったことから考えると、円の価値は3年間で3分の2以下になったことになる。安倍内閣が進める経済政策「アベノミクス」の一つである大胆な金融緩和政策が、円安進行の大きな

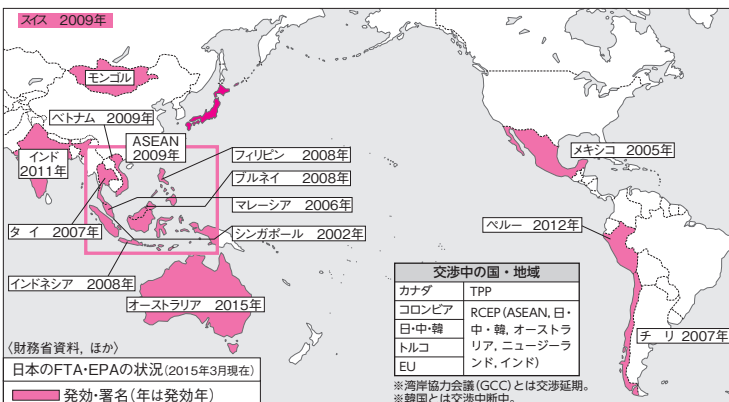
要因である。円安によって自動車や電機などの輸出産業の利益がかさ上げされ、製造業をはじめとする多くの主要企業が過去最高の企業収益を記録するというプラス効果が出ている一方で、輸入価格の上昇による食料品や日用品の値上げが消費者の購買力を低下させるというマイナス面も懸念される。



日本のFTA・EPA オーストラリア、モンゴルと交渉成立

『アクセス現代社会 2016』 p.253 I ① 「日本のFTA・EPAの状況」に掲載予定

データ更新



日本のFTA・EPAの状況

2015年1月に、日本とオーストラリアの両国間で結ばれた経済連携協定 (EPA) が発効した。オーストラリア産の牛肉の値下げや日本の自動車輸出の増加など、貿易量が多い両国間のEPAは、今後その効果が期待される。また、2015年2月には、日本とモンゴルの両国間で経済連携協定 (EPA) が署名された。